

## 1 概要

- (1) 内政では、新型コロナウイルス感染拡大に対して、政府は感染拡大を抑止するための義務的自宅待機措置を段階的に実施するとともに、貧困層支援のための経済政策を発表した。また、感染拡大に一定の見通しがたったとの判断の下、政府は、外出禁止の影響を受けている公務員、企業、学校等の再開等の指針を示す安全な復旧計画を発表した。また、ピネラ大統領はマカレナ・サンテリセス・カニャス氏を新女性・ジェンダー平等大臣に任命した。
- (2) 外交では、ピネラ大統領がトランプ米大統領と電話会談を実施し、ワクチン入手においてチリが優先的な立場に置かれることで一致した。また、チリ、アルゼンチン、メキシコ及びウルグアイが共同で実施した人道的帰国支援計画により右４カ国で新型コロナウイルスの影響による国境閉鎖措置や商業便のキャンセル等で帰国困難な状況下にあったそれぞれの国民が帰国した。

## 2 内政

### (1) 新型コロナウイルス感染拡大に対する政府の取り組み

４月に入ってから、政府は、新型コロナウイルス感染を抑制するために、各地域の感染状況を踏まえて首都圏及び地方都市において義務的自宅待機措置の指定及び解除を行った。全面的な隔離措置を求める医師団体や市長らの主張もあったが、保健省は経済や国民の生活に与える影響も考慮しつつあくまでも段階的かつ局所的な措置を継続した。また、感染防止のための水際強化措置である国境閉鎖は、３月１８日から継続されている。

経済対策面では、政府は、２段階にわたり予算規模１７０百万ドル（GDP 7%に相当）の経済政策を発表。同政策には、現金給付、失業保険等の措置が含まれる。４月２７日には、政府は、貧困層への支援のための緊急家族収入支援法案を提出した。

### (2) 安全な復旧計画の発表：大統領府プレスリリース

４月２４日、ピネラ大統領は、チリ国民の生命と健康を保護すると同時に新型コロナウイルスの影響を受けている公務員、企業、学校等の再開等の指針を示す安全な復旧計画（Plan Retorno Seguro）を発表した。なお、同計画に対しては、感染拡大の現状に鑑み早急すぎるとの野党やメディア等の反発もあり、政府はあくまでも段階的に行われることを強調している。

同計画は、社会・経済活動の再開に際しソーシャル・ディスタンスの確保、密集の回避、手洗い及びマスク着用等当局が導入した衛生措置を徹底するとともに、高齢者、慢性疾患持ち及び妊婦等の感染リスクの高い者に対しては職場及び学校復帰を要求しないこと、また、各家庭及び企業に対し適当な猶予期間をもって段階的かつ透明性をもって懲罰されるほか、各地方及び地域の個別の状況に適切に対応するため柔軟かつダイナミックに実施されることを定めている。

### (3) 新女性・ジェンダー平等大臣の任命：大統領府プレスリリース（

５月５日、ピネラ大統領はマカレナ・サンテリセス・カニャス氏を新女性・ジェンダー平等大臣に任命した。

## 3 外交

### (1) ピネラ大統領とトランプ米大統領の電話会談：報道

５月７日、ピネラ大統領はトランプ米大統領と１５分程度の電話会談を実施し、両国における新型コロナウイルス感染対策について意見交換した。政府筋によると、今次電話会談はラテンアメリカにおけるコロナ禍に取り組むため、トランプ大統領から呼びかけられた。

ピネラ大統領は電話会談後の記者会見で、ワクチンが開発され次第、ワクチン入手においてチリが優先的な立場に置かれることでトランプ大統領と一致したと述べた。

**(2) チリ, アルゼンチン, メキシコ及びウルグアイが実施した人道的帰国支援計画：外務省プレスリリース**

11日から13日にかけてチリ, アルゼンチン, メキシコ, 及びウルグアイ外務省が共同で実施した人道的帰国支援計画により, 右4カ国で新型コロナウイルスの影響による国境閉鎖措置や商業便のキャンセル等で帰国困難な状況下にあったメキシコ人160名がチリ, アルゼンチン, ウルグアイから, チリ人64名がアルゼンチンから, アルゼンチン人123名及びウルグアイ人38名がメキシコから出国し, それぞれの母国へ帰国した。

運航路線については, メキシコ空軍機がメキシコシティ・ブエノスアイレス・サンティアゴ・メキシコシティ路線を担当し, ウルグアイ空軍がモンテビデオ・ブエノスアイレス・モンテビデオ路線を担当した。